(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 6 日

佐賀県知事 殿

提出者

住 所 佐賀県佐賀市末広1丁目9番35号

氏 名 西部電気工業株式会社

佐賀支店 藤澤 修司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0952-28-5358

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業場の名称西部電気工業株式会社佐賀支店 事 業 場 の 所 在 地|佐賀県佐賀市末広1丁目9番35号 計 間 令和 7年 4月 1日~ 令和 8年 3月 31日 画 期 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 ① 事業の種類総合工事業 ② 事業の規模 6億円 ③ 従 業 員 数 10名 各 現 場 協力会社 事務所等 ④産業廃棄物の一連 の処理の工程 西部電気 中間処理業者 最終処分業者 事務所等 (処分契約が必要) (処分契約が必要)

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 事業部長(統括責任者) 営業所長(排出責任者) 現場監督員(工事長) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度(令和 6 年度)実績】 産業廃棄物の種類 別紙記載 1265.132 排 出 量 (これまでに実施した取組) ①現状 現場での加工等を極力減らし産業廃棄物の発生を抑制している |※既設設備の有効利用の促進 【目標】 産業廃棄物の種類 別紙記載 排 \mathbb{H} 1265.000 (今後実施する予定の取組) ②計画 現場での加工等を極力減らし産業廃棄物の発生を抑制している ※既設設備の有効利用の促進 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①現状 アスコン破片、コンクリート破片等、廃棄物毎に分類し、マニュフェスト発行、返戻管理を 徹底している (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ②計画 アスコン破片、コンクリート破片等、廃棄物毎に分類し、マニュフェスト発行、返戻管理を 徹底している

自ら	っ行う産業廃棄物の再生	E利用に関する事項							
		【前年度(令和 6 年度	芝)実績 】						
		産業廃棄物の種類	-						
	O #FT 16	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	t					
	①現状	(これまでに実施した取締	組)						
		【目標】							
		産業廃棄物の種類	-						
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	t					
	2計画	(今後実施する予定の取締							
自ら	L o行う産業廃棄物の中間	L 見処理に関する事項							
	【前年度(令和 6 年度)実績】								
		産業廃棄物の種類	-						
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	t					
	 ①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.000 t	t					
		(これまでに実施した取締							
		 【目標】							
		産業廃棄物の種類	-						
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000						
		自ら中間処理により減量する	0.000	t					
	②計画	産業廃棄物の量	t	t					

自ら	行う産業廃棄物の埋立	立処分又は海洋投入処分に関	する事項									
		【前年度(令和 年度)	実績】									
		産業廃棄物の種類	-									
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.000	t	t							
		(これまでに実施した取組)									
		【目標】										
		産業廃棄物の種類	_									
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃乗物の量	0.000	t	t							
		(今後実施する予定の取組)										
産業	廃棄物の処理の委託は	2関する事項										
		【前年度(令和 6 年度)	実績】									
		産業廃棄物の種類	別紙記載									
		全処理委託量	1265.132	t	t							
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	387.250	t	t							
		再生利用業者への 処理 委託 量	1265.132	t	t							
	①現状	認定熱回収業者への 処理 委託 量	0.000	t	t							
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	0.000	t	t							
		(これまでに実施した取組)									

(第5面)

		【目標】			
		産業廃棄物の種類	別紙記載		
		全処理委託量	1265.000	t	t
		優良認定処理業者への 処理 委託 量	0.000	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	1265.000	t	t
	②計画	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000	t	t
		(今後実施する予定の取	組)		
※事	孫処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
 - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物	物の排出の抑制に関する 🏾	事項														
	【前年度(令和 6年度)実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類 廃プラス	オくず 木くず	金属くず	汚泥	管理型 混合廃棄										
	排 出 量	840.556 t 40.2	255 t 32.075 t	4.420 t	312.150 t	35.676 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	: 1
	【目標】															
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類 魔プラス	キック類 木くず	金属くず	汚泥	管理型 混合廃棄										
	排 出 量	853,164 t 40.	.859 t 32.556 t	4.486 t	297.723 t	36.211 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	

(第3面)

自ら行う産	産業廃棄物の再生利用に関	間する事項															
	【前年度(令和 年度)実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	管理型混合廃棄物										
	自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	t	t t	t	t	t	ŧ	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】																
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	管理型混合廃棄物										
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	. t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う層	産業廃棄物の中間処理に関	引する事項															
	【前年度(令和 年度)実績】															
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	管理型混合廃棄物										
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	. t	t	t	t	t	t	t	t	ŧ	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	: t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】																
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	管理型混合廃棄物										
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	: t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

(第4・5	у Щ /																
自ら行う産	ご業廃棄物の埋立処分又は	は海洋投入処	分に関する事	事項													
	【前年度(令和 年度) 実績】															
TIELL.	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	管理型混合廃棄物										
①現状:	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】																
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	本くず	金属くず	汚泥	管理型混合廃棄物										
②計画:	自ら埋立処分又は 海洋投 <u>入処分を行う</u> 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物	の処理の委託に関する事	事項															
	【前年度(令和 6年度)実績】																
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	管理型混合廃棄物										
	全処理委託量	840.556 t	40.255 t	32.075 t	4.420 t	312.150 t	35.676 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	0.000 t	40.255 t	32.075 t		310.500 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
①現状	再生利用業者への 処 理 委 託 量	840.556 t	40.255 t	32.075 t	4.420 t	312.150 t	35.676 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
		0.000 €	, 0.000 (0.000 t	1 0.000 t	0.000 (., 0.000 (۲۱									
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	管理型混合廃棄物										
	全処理委託量	853.164 t	40.859 t	32.556 t	4.486 t	297.723 t	36.211 t	+	+	t	+	+	+	+	+	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	<u>t</u>	t
②計画	再生利用業者への 処 理 委 託 量	853.164 t	40.859 t	32.556 t	4.486 t	297.723 t	36.211 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t